

第 21 回 鈴鹿 F 1 グランプリ 地域活性化協議会 議事要点録

日 時：平成 28 年 8 月 4 日（木）14 時 00 分～15 時 25 分

場 所：鈴鹿市役所 本館 12 階 1203 会議室

出席者：37 名（別紙『組織構成及び出席一覧表』参照）

組織委員 28 名（全 37 名中 出席 15 名，代理 13 名，欠席 9 名）

オブザーバー 1 名

事務局（鈴鹿市）8 名

内 容：以下のとおり（要旨）

1 あいさつ

【鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 会長 鈴鹿市長 末松 則子】

- ・第 21 回鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会に御出席を賜り，心より御礼を申し上げます。
- ・本年の F 1 世界選手権シリーズは，本市との関係が深い本田技研工業株式会社がマクラーレン・ホンダとして 2 年目を迎え，徐々に競争力を高めながら，現在上位を伺うポジションに位置している。
- ・日本人ドライバーは不在のままだが，このように日本を代表する企業が，世界一を争うステージで戦うことは，私ども日本人にとって誇りに感じている。
- ・日本グランプリにおいて，素晴らしい成績となるよう応援してまいりたい。
- ・本年の F 1 は，多くの観戦者にお越しいただき，目の前で繰り広げられる世界一の戦いをご覧いただきたい。
- ・10 月の F 1 日本グランプリに向け，環境整備部会，おもてなし部会の両部会において，交通渋滞の緩和や，おもてなしの向上を図るために，様々な施策に取り組んでいただいている。
- ・観戦者及び地域住民が満足いただけるよう，協議会の皆様方としっかりと連携し，取組を進めていく。

2 報告事項

（1）規約の一部改正について【資料 1】【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・平成 28 年 4 月 1 日に行われた機構・組織改革を実施し，鈴鹿市地域資源活用課が新設されたことにより，鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会事務局が，地域資源活用課へ変更となることから，事務局に関して改正を行う。

（2）役員の変更について【資料 2】【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・本会の監事を務めていただいている伊勢鉄道株式会社的人事異動が 6 月 28 日付けで行われたことから，新たに伊勢鉄道株式会社代表取締役専務にご就任された岩崎氏に監事を変更させていただく。

3 承認事項

(1) 2015 年度決算及び監査報告について【資料 3】【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・ 2015 年度鈴鹿 F1 日本グランプリ地域活性化協議会収支決算報告書に基づき説明。
- ・ 収入 11,209,371 円， 支出 10,269,590 円， 差額 939,781 円は 2016 年度へ繰越し。
- ・ 監査の結果，収支決算書及び関係帳簿等が適正である旨を岩崎監事報告。

◎拍手多数により承認。

※F 1 日本グランプリレース開催概要について

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 塩津氏】

- ・ 本年の F 1 日本グランプリレースの開催概要について，説明させていただく。
- ・ 今年度は，F 1 世界選手権シリーズの 21 戦行われる中，17 戦目が日本グランプリとなっている。
- ・ 今年の世界について，開催は 10 月 9 日が決勝となっており，10 月の 6 日から 10 日までの 5 日間，F 1 のイベントを開催ということで取組を進めている。
- ・ 取り巻く環境としては，昨年 F 1 復帰したマクラーレン・ホンダ 2 年目ということで，活躍が期待される場所である。
- ・ 10 月の 3 連休に開催されるということということで，遠方のお客様，小学生のお子様，ファミリーでも来ていただきやすい開催日程となっている。
- ・ 新しいチームとして，ルノー，ハースが参戦している。日本人ドライバーは残念ながら今年も不在となっている。
- ・ 現在のドライバーズランキングは，トップ 2 がメルセデスのドライバーであり，レッドブル，フェラーリを含めた 3 チームが非常に強い状況である。その後のウィリアムスとマクラーレンまでが接戦を繰り広げている。
- ・ マクラーレン・ホンダは今シーズン最高位が 5 位ということで，10 位以内に食い込むことも多くなっているが，まだ表彰台には届いていないという状況である。
- ・ タイムスケジュールは，昨年と大きく変更はなく，決勝は 14 時スタートとなっている。
- ・ 今年の世界の開催のテーマは，「THE 1 AND ONLY」として取組をしている。
- ・ 世界に 21 戦開催される中，鈴鹿の F 1 は世界屈指のコースでレースも特有のものがあるが，鈴鹿だけでしかないイベントであったり，遊園地を含めてファミリーで楽しめる環境であったり，地域の皆様と一体となったおもてなしということで，会場全体を盛り上げる世界に類を見ない唯一無二の F 1 というところを目指している。
- ・ 今年は海外のお客様に多く来ていただきたいということで，海外に向けても発信しており，関係各所と調整して免税店を設置などもやっていきたいと取組を進めている。
- ・ 鈴鹿独自であり象徴するイベントとして，ドライバーにレース以外で出演をしていただいて，ファンの皆様と触れ合っていただく機会を作りたいと考えている。
- ・ 昨年からは始めた取組だが，今年はさらに多くのドライバーに出ただけのように準備を進めている。既に 7 チームからは，了承を得ており，そのほかのチームについても交渉を進めている。

- ・このような取組をするF1グランプリは、他の国ではないことであり、鈴鹿ならではの。
- ・お子様向けの取組として、チェッカーフラッグクラフト教室やフォーミュラマシンキャップクラフト教室、搭乗体験であったりフェイスペイントであったりということで、お子様向けイベントにも数多く取り組んでいく。
- ・イベントの取組として、フェラーリの展示、あるいはデモンストレーションということで、マクラーレン・ホンダと同じようにフェラーリについても人気の高いチームであり、フェラーリを中心としたイベントを展開していく。
- ・そのほか5日間のイベントの展開となるので、木曜日はドライバーのサイン会、トークショー、地元の小学生のジュニアピットウォークなどを行う。
- ・月曜日についても、元F1ドライバーのトークショーや前日の決勝を振り返るプレイバックなどを行っていく。
- ・鈴鹿市民応援席を今年も展開しており、若干昨年より売り上げが悪いが、ぜひ皆様からのバックアップをお願いしたい。
- ・来場者については、5日間で179,000名を見込んでいる。皆様のご協力をお願いしたい。

※観光庁あいさつ 【観光庁観光地域振興部観光資源課 柘植氏】

- ・観光庁では、訪日外国人観光客数2000万人の目標に向けて取り組んできた。
- ・昨年度1974万人という訪日外国人観光客数を達成したが、昨年度末に観光ビジョンをまとめ、新たに4000万人という目標に向かって取り組んでいる。
- ・今、東京、大阪、名古屋という大都市に集中している訪日外国人客を地方に回すというのが課題となっているが、その中で、F1や鈴鹿サーキットの施設については、大きな目玉である観光資源であると考えている。
- ・観光庁として、徐々に地域支援のメニューが揃ってきていることから、これらのメニューを活用いただいて、活性化に役立てていただきたい。

(2) 2016年度事業計画について

①環境整備部会

(I) 2016年のテーマについて 【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・A3サイズの系統図に示してある今年度のテーマについては、「鈴鹿から元気発信！世界へ！日本へ！熊本・九州へ！」とした。
- ・熊本地震や豪雨で大変な思いをされたところであるので、熊本や九州地域に貢献できるような取組を事務局で考えていきたい。

(II) F1日本グランプリ開催時における交通円滑化施策実施について

【三重河川国道事務所調査第二課 藤原氏】

- ・資料4『環境整備部会資料』1P～5Pに基づき説明。
- ・(1P下段)今年度、三重河川国道事務所が実施する施策は、白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定、高速・国道 情報板・路側ラジオ(交通情報の提供)、コンビニ等での推奨ルートチラシ配布、会場内ブースでの帰宅時の交通情報・渋滞情

報の提供、「みち録」動画での周辺状況の情報提供、E T C 2.0 プローブ情報等による情報提供及び共有（新規）である。

- ・(2P 上段) 白子駅シャトルバスルート（専用ルート区間）の設定について、10月8日と9日の両日、中勢バイパスの一部区間において、一般車両の通行規制を実施し、シャトルバスの専用ルートとして運用することで、現在交通規制の手続きを進めている。
- ・(2P 下段) 高速・国道 情報板・路側ラジオ（交通情報の提供）、コンビニ等での推奨ルートチラシ配布、会場内ブースでの帰宅時の交通情報・渋滞情報の提供については、近隣の高速、国道の情報板で1ヶ月前から、通行規制、F1開催時の交通渋滞に対する注意喚起を表示するよう準備を進めている。
- ・(3P 上段) コンビニ等で推奨のルートチラシを配布するという取組をおこなっており、帰る時間が集中して混んでしまうということがあるので、サーキットで少し遊んでいただいで帰っていただくという選択肢を選んでいただけるよう、過去の情報データを用いて情報を提示していく。
- ・(3P 下段) 参考として、昨年度の情報提供で課題が残った点があり、レース終了が例年よりも早かったということもあり、推奨ルートを走っていただくと、一般の生活交通のピークと推奨ルートのピークが重なってしまい推奨ルートの方が遅い結果となった。このようなことがないように、より時間分担をしっかりと考えて情報提供を行っていく。
- ・(4P 上段) 会場内にブースを設置し、鈴鹿 I C までの所要時間、シャトルバスの待ち時間等の情報を、ブースにて情報提供させていただく。
- ・(4P 下段) みち録動画での周辺状況の情報提供として、サーキット前と周辺主要交差点の渋滞状況を動画で配信し、状況を見ていただいた上で帰る時間の判断の一助としていただく。
- ・昨年利用いただいた方からは、7割の方が利用したいと回答いただいております、ほぼ半数の方より状況がすぐに分かるかと回答いただいております。
- ・(5P 上段) プローブデータ等の分析結果の共有と円滑化施策への活用であるが、今年度の新たな取組として、最近 E T C 2.0 というビッグデータが活用できるようになってきた。
- ・このデータを使うと、走行データが取れることから、それを用いて昨年観戦された方の走行データと一般の市民の方が週末にどこを通っているのかデータを重ねて、どこが観戦者と市民の方との交通が集中するのか、例えば緊急車両が通行する際にどこを通行すれば交通集中を避けられるのかということを含めて、こうした交通データを活かして、観戦時の混乱を少なくしていきたい。
- ・観戦者については、交通集中を避ける判断材料としていただく情報として、提示したいと考えている。

(Ⅲ) 鈴鹿 F1 日本グランプリ 2016 への取り組みについて

【近畿日本鉄道株式会社 高橋氏】

- ・資料 4『環境整備部会資料』6P に基づき説明。
- ・臨時列車については、時刻表に載っていないため、いい時間でも乗車いただけないという課題がある。より多くの方に利用いただけるよう周知を図っていく。

- ・駅での取組について、公共トイレ整備により昨年は設置しなかったが、お客様からご意見やご要望をいただいたことから、今年度は設置するように進めている。設置箇所については、ロータリーの南側を考えている。
- ・三重交通に協力いただき、復路の1番バスの発車情報や、サーキットバス乗車場の状況など情報を連絡いただく。
- ・復路お客様滞留所については、昨年と同様の動線とする。
- ・特急チケットレスサービスとして、スマートフォン、携帯電話からクレジットカードもしくは現金積立による特急券の購入を進めている。これの利用促進を図るためにチラシを配布したいと考えている。

(IV) 鈴鹿 F1 日本グランプリ 2016 への取り組みについて

【伊勢鉄道株式会社 富澤氏】

- ・資料4『環境整備部会資料』7P・8Pに基づき説明。
- ・伊勢鉄道として、F1日本グランプリにおいて無事故で完遂するように取り組んでいく。
- ・(7P 上段) 臨時列車等の具体的な本数については、資料のとおりとなるが、新しい施策として特急列車を土曜、日曜の帰りの時間に、尾鷲、熊野、新宮方面への特急南紀を初めて臨時停車させる。
- ・今回は3連休での開催ということもあり、鈴鹿にお越しいただいた皆様が東紀州を含め全域に宿泊をしていただければとの思いで、初めて実施するものである。
- ・(7P 下段) 快速の臨時停車は昨年と変更はないが、一部本数が減っている。理由として、昨年まで車両基地が伊勢にあり、名古屋に停車中の臨時列車を、回送を兼ねて活用していたが、今年は基地が名古屋に変わったことから、運転を減らしている。
- ・快速列車は、国鉄時代・昭和時代の車両が全てなくなり、新型の3ドアの車両となったことから、快適に利用いただけることとなる。
- ・(7P 上段) サーキット稲生駅について、昨年同様駅周辺を交通規制し、利用者の安全性を確保するとともに、協議会に協力いただいて仮設トイレ・照明を設置させていただく。
- ・JR東海の臨時乗車券の発売所を設けて、利用者の利便性を向上させていただく。
- ・手荷物預かり所について、佐川急便と設置に向けた調整を行っている。
- ・資料には記載はないが、過去2年間ジャパンレールウェイパスとう訪日外国人客向けのJR各線が乗り放題というチケットをお持ちのお客様について、F1期間に限って片道ないし往復の運賃を無料にする施策を行っていたが、本年については三重県から支援をいただけなくなったことから、今年度の実施は厳しい状況である。

(V) 鈴鹿 F1 日本グランプリ 2016 への取り組みについて

【三重交通株式会社中部観光営業所 山本氏】

- ・資料4『環境整備部会資料』9Pに基づき説明。
- ・10月7日～9日の3日間、白子駅西口から鈴鹿サーキット臨時駐車場までの間、シャトルバスを運行させていただく。

- ・7日については、6時から18時、8日、9日は6時から20時までの運行時間を予定している。
- ・運行経路については、白子駅西口を出て亀山鈴鹿線を経由し、中勢バイパスの野町西交差点から稲生高校北交差点を利用して、鈴鹿サーキット8番駐車場へ向かう。
- ・10月の8日、9日については、昨年同様、三重河川国道事務所様、鈴鹿警察署様、各関係機関の協力を得て、中勢バイパスを利用させていただくことで、渋滞区間を回避し円滑な運行が可能になるということで、片道所要時間は20分と設定している。
- ・昨年のレース終了後、ピーク時である16時台では、3000名から4000名輸送させていただいた。
- ・白子駅の乗降については、白子駅前商店街様の協力を得て時間帯の交通規制を実施し、乗降場所の設置を行う予定である。
- ・乗車券の発売については、白子では乗車券を購入せずに乗車いただいて、サーキットの8番駐車場での降車時に精算いただく。
- ・鈴鹿サーキットでの乗降については、鈴鹿サーキットに協力いただいて、8番駐車場を乗降場所として利用させていただく。
- ・決勝日のピーク時には約70台の車両を投入して、6両以上の同時着車ができるような対応を行っていく。
- ・その他として、警備会社、社員を各主要地に配置して安全確保を図っていく。
- ・今年度、ICカード導入して利便性向上に努めていく。
- ・名古屋行き直通バスについて、10月8日、9日の両日、運行の設定をしており、インターネット予約が8月11日から開始となる。運賃については、片道3000円、往復5000円と設定している。
- ・今年度も大量輸送に向けて、皆様のご協力をお願い申し上げます。

(VI) 鈴鹿F1日本グランプリ2016への取り組みについて

【中日本高速道路株式会社名古屋支社桑名保全・サービスセンター 水野氏】

- ・資料4『環境整備部会資料』10P・11Pに基づき説明。
- ・今年度の対策案として3点説明させていただく。
- ・(10P 上段) 一つ目に、鈴鹿IC出口の信号の調整である。鈴鹿警察様の協力を得て、10月7日～9日までの3日間、左折の信号を長くし、できる限り高速道路の出口渋滞を緩和していきたい。
- ・二つ目に、環境整備部会で作成されたポスターやリーフレットをSAやPAで掲示や配布をさせていただく。
- ・三つ目に、高速道路の迂回推奨で、高速道路の鈴鹿ICが混雑することから、その手前の桑名IC、四日市東IC、みえ川越IC、亀山ICでの流出の推奨ということで、そのICの手前に標識車両を配備し、車両を誘導させていただく。
- ・(11P 上段) 標識車両の配置場所については、地図のとおりである。
- ・(11P 下段) 表示内容については、図のとおりとなるが、鈴鹿IC混雑、F1鈴鹿亀山ICへというブリング表示で周知をさせていただく。
- ・F1対策は以上であるが、8月12日に新名神の一部が開通する。四日市JCTから5.8kmの区間新名神が延伸となる。そこから東海環状道ということで、東員ICま

で残り 1km のところに IC ができる。平成 30 年の新名神が開通すれば、東名阪道の渋滞もかなり緩和される見込みである。

(VII) 鈴鹿 F1 日本グランプリ交通対策について

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 久田氏】

- ・資料 4『環境整備部会資料』12P～14P に基づき説明。
- ・(12P 下段) 2016 年の駐車場について、図が直営・臨時の駐車場の配置であるが、直営で最大 5200 台を受け入れる体制を整えている。
- ・(13P 上段) 図が他社の民間駐車場であり、10000 台の駐車容量があると推計している。
- ・(13P 下段) 正面駐車場の配置であるが、昨年と同様のレイアウトとなっている。
- ・(14P 上段) 伊勢鉄道を利用される海外のお客様が増えており、鈴鹿サーキット稲生駅から鈴鹿サーキットに至るまで、海外向けの看板ということでピクトグラムと英語を使った看板を設置していく。
- ・(14P 下段) シャトルバス降車場及びタクシー降車場からメインゲートまで、ピクトグラムを使った看板を設置して、海外のお客様にも日本のお客様にも分かり易いご案内を行っていく。

(VIII) 2016 鈴鹿 F1 日本グランプリ救急救護体制について【鈴鹿中央消防署 江藤氏】

- ・資料 4『環境整備部会資料』15P・16P に基づき説明。
- ・昨年の F1 においては、125 名の救急救護を行った。
- ・本年も昨年の実績を踏まえて、10 月 8 日、9 日の 2 日間、救急救護体制をとっていく。
- ・(15P) 職員の派遣時間と救護体制、傷病者発生時における対応は、資料のとおりである。

(IX) 鈴鹿 F1 交通円滑化 2016 年度実施計画 (案) について

【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・資料 4『環境整備部会資料』17P～28P に基づき説明。
- ・(18P 下段) 交通円滑化の目標について、鈴鹿市内の速度低下を 4 時間以内とさせていただく。
- ・市内への車両流入の減少、負担を減らすため、公共交通の利用率を上げるとともに、鈴鹿 IC の利用率を下げることを目指していく。
- ・21P 下段から 24P 上段までは、昨年の実績となるので、参考としていただきたい。
- ・(25P 下段) 今年度のシャトルバス専用レーンに伴う交通規制案を示させていただいた。
- ・昨年、円滑なシャトルバスの運行ができたことから、昨年度と同様に規制を行っていく。
- ・地域の自治会様、鈴鹿警察署様、三重河川国道事務所様のご理解とご協力を得て、進めていく。
- ・資料にはないが、三重交通のシャトルバスを最大 80 台ご提供いただくが、滞留場所

を、今年も鈴鹿市体育館敷地内駐車場へ変更させていただく。

- ・(28P) 情報収集本部の体制図を示しているが、F1 日本グランプリ開催中の金、土、日の3日間、このような情報収集本部の体制をとって、皆様からいただいた情報を精査して、FM ラジオやインターネットを通じて、情報提供をしていく。
- ・体制図について、改めて担当者の氏名や連絡先を照会させていただくので、協力をお願いしたい。
- ・カラーの鈴鹿 F 1 協議会 P R チラシについて、今年度の鈴鹿サーキットがチケットを郵送する際に、同封させていただいた。
- ・昨年、公共交通の利用の目標が達成できなかった関係から、近鉄四日市駅周辺の駐車場を利用いただき、近鉄あるいは伊勢鉄道を利用したパーク & レールを前面に強調しているのが、今回の特徴である。
- ・裏面には、アンケート調査実施の告知をさせていただいている。

③おもてなし部会【資料5】

- ・資料5『おもてなし部会資料』1P～11Pに基づき説明。

【鈴鹿サーキット 上甲氏】

- ・(2P 下段) ジュニアピットウォークについて、今年度も10月6日(木)に、5市1町の小学生を対象に、ジュニアピットウォークに参加いただく。
- ・参加いただくだけでなく、事前からF1に興味を持っていただけるようF1チームとの交流事業や出前授業を昨年より継続して実施することによって、取組を進めさせていただきます。

【鈴鹿商工会議所 酒井氏】

- ・(5P 下段) 日本グランプリ感謝セールとして、クーポンを新聞折込しており、本年も9月25日(日)から10月10日(月・祝)までの16日間で実施させていただく。
- ・市内の新聞へ、約60000部を印刷し折込させていただく。
- ・商工会議所会員事業者の方から応募いただき、60社掲載させていただく。
- ・(6P 上段) 通訳ボランティアブースを、近鉄白子駅、鈴鹿サーキット稲生駅で展開するが、今年度、鈴鹿サーキット園地内では実施しない。
- ・10月7日～9日までの期間、ブースを設置し、市内や市外からボランティアを募集し、延べ45名の方に関わっていただく予定である。
- ・資料には掲載がないが、9月23日10時から昨年のF1日本グランプリの表彰台を獲得した3名のドライバー手形を近鉄白子駅西ロータリーに設置し、市長や鈴鹿サーキット、商工会議所会頭によりプレス発表を予定している。
- ・10月10日に商工会議所が本年70周年を迎える記念として、鈴鹿市立図書館の周辺で青年部のボックスカートグランプリ、鈴カレグランプリの開催を予定している。

【鈴鹿商工会議所青年部 加藤氏】

- ・(6P 下段) 10月7日～9日、鈴鹿サーキット園地内でF1応援イベントを開催させていただきます。

- ・メッセージオトドケ隊は、ドライバーへの応援メッセージを国旗に記載いただき、それをドライバーに届けさせていただく。
- ・くれないのチェッカーフラッグは、優勝ドライバーを観戦者に予想していただき、当選された方に、実際に使用されたチェッカーフラッグを贈呈させていただく。
- ・昨年好評いただいたボディペイントも今年度実施させていただく。
- ・鈴鹿の地域ブランドに関するアンケート調査を行い、抽選で鈴鹿ブランド賞品をプレゼントする企画を行う。
- ・(7P 上段) 10 月 10 日 (月・祝) に鈴鹿市立図書館西側駐車場を利用して、ボックスカートグランプリを開催させていただく。
- ・商工会議所の 70 周年の記念事業ということもあり、その一環の行事として位置づけさせていただいている。
- ・(7P 下段) F ツイ割であるが、ツイッターを利用して観戦チケットやパドックパスを提示すれば、各店舗で割引特典を得ることができる取組を今年度も実施する。

【鈴鹿市地域資源活用課 小野】

- ・先ほど説明のあったチェッカーフラッグについては、鈴鹿墨で染めたチェッカーフラッグを使用いただくよう調整を行っている。

【特定非営利活動法人鈴鹿モータースポーツ友の会 中野氏】

- ・(8P 下段) 勝速日神社の協力のもと、モータースポーツにちなんだ絵馬の販売や祈願の受付などを実施し、祈願されたり、お土産としてお持ち帰りいただく。
- ・絵馬については、神社、観光協会、鈴鹿サーキット園地内で販売する予定である。
- ・(9P 上段) F1 日本グランプリ観戦会については、鈴鹿市民応援席の一角を利用させていただき、全国からお越しの友の会の会員の皆さんに観戦いただくとともに、市内の様々な施設を利用し、鈴鹿市そのものを理解いただき、一人でも多くの鈴鹿市のファンを作っていくたい。

【三重県雇用経済部観光局 谷合氏】

- ・5 月末に開催された伊勢志摩サミットにおいては、宿泊や交通規制等によりご迷惑をお掛けすることも多かったと思うが、皆様の協力により無事に終えることができたことをお礼申し上げます。
- ・先般、観光庁が公表した宿泊旅行統計調査によると平成 27 年の三重県の延べ宿泊者数が、946 万人であった。これは、遷宮のあった平成 25 年の 969 万人に次ぐ、過去 2 番目に多い数値となっている。
- ・外国人延べ宿泊者数については、39 万人ということで、対前年比の伸び率でいくと、全国で 2 位。サミットの開催が決まった下半期では、全国 1 位の伸び率となっている。
- ・三重県にお越しいただく方の増加により一層の弾みをつける意味でも、今回伊勢志摩サミット開催で培われた県民一体によるおもてなしで、国内外から F1 観戦にいらっしゃる観光客の皆様をお迎えしたい。

- ・三重県では、F1 観戦時の県内宿泊を促進するために、三重県観光連盟と連携し、F1 サポート宿泊施設という取組を実施しており、昨年度、津、松阪、鳥羽にある 8 件の宿泊施設にご参加いただき、3 日間で延べ 879 泊の利用があった。
- ・取組にご参加いただいた施設では、ロビーで F1 グッズを展示いただいたり、レースの映像を放映していただいたり、抽選でグッズをプレゼントしていただくなど、気運を盛り上げるような様々な取組を実施していただいた。
- ・本年も、観光連盟と連携して、サポート宿泊施設としてご協力いただける施設を現在募集中である。
- ・鈴鹿 F1 協議会のホームページでもお客様へのご案内を行っていく。
- ・三重県では、6 月 30 日からみえ食旅パスポートの発給をスタートしている。これは、今年の 3 月まで実施させていただいたみえ旅パスポートの仕組みを活かしつつ、食というものに重点を置いて、現在の観光消費額の増加を狙うものである。
- ・みえ食旅パスポートについて、今年度、鈴鹿サーキット園地内で 5 市 1 町の観光 PR ブースにおいて、臨時の発給を行わせていただいて、県内への周遊とか滞在の向上を図っていきたい。
- ・F1 観戦の方は、継続的に三重県にお越しいただいている方も多く、こういった方々に三重の魅力をしっかりと伝えていくことで、何度でも三重にお越しただいて、県内の周遊を楽しんでいただけるように進めていきたい。
- ・伊勢志摩サミットによって、三重県には世界から注目を集めているというチャンスを活かして、今後も鈴鹿 F1 日本グランプリ地域活性化協議会の一員として、効果的な情報発信に努めるとともに、関係各所と連携しながら、世界的な F1 日本グランプリを盛り上げていきたい。

【ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 大石氏】

- ・毎年、三重県と愛知県の食材とお飲み物を合わせた、F1 フェアという形で応援させていただいている。
- ・今年度、最上階のフレンチレストラン、2 階のバイキングレストランでフェアを予定している。
- ・最上階のフレンチレストランでは、メインディッシュに三重黒毛和牛、また、魚には愛知県産の絹姫サーモンを使ったお料理など、両県のいいところを合わせたお料理を用意している。
- ・マクラーレンのスポンサーであるシャンドンのスパークリングワインを合わせて、フェアを行っていく。
- ・ホテルのホームページでは、ジェンソン・バトンのメッセージが公開予定となっている。
- ・食と飲み物から、F1 日本グランプリを応援させていただく。

【鈴鹿市地域資源活用課 小野】

- ・(2P 上段) イオンモール鈴鹿をお借りし、10 月 1 日から 9 日までの間、鈴鹿出身フォトグラファー熱田護さんの F1 写真展を開催する。また、初日には F1 キックオフイベント 2016 と題して、オープニングイベントを行う。

- ・(3P 上段) イオンシネマ鈴鹿において、10月6日から9日まで、19時より、映画監督のポランスキーとジャッキー・スチュワートの交流を捉えたドキュメンタリー映画、「ウィークエンド・チャンピオン〜モンテカルロ 1971〜」を上映させていただく。
- ・(3P 下段) 鈴鹿日本グランプリ地元前夜祭については、本年もイオンモール鈴鹿第3駐車場をお借りし、10月7日に実施させていただく。
- ・時間について、昨年より1時間遅らせて、17時から21時までで開催させていただく。
- ・内容については、昨年よりも充実したステージイベントの実施など、魅力的なものになるよう調整させていただいている。
- ・(8P 上段) チケット割引について、本年も得得クーポン、鈴鹿マガジン、F ツイ割のクーポン参加店舗で、F1 グランプリのチケット提示で割引が受けられるよう共通フラッグを掲出するとともに、Web上にマッピングの実施により、利用者の利便性の向上を図っていく。
- ・本年度の新たな取組みとして、海外のお客様が快適に会場いただけるようなインバウンド対策として、鈴鹿サーキット、公共交通機関と調整を行っている。
- ・時間の都合上、その他の取組みは割愛させていただくが、おもてなし部会として各取組みを発展させる形で実施させていただく予定である。

(3) 2016年度予算案について【資料6】【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・2016年度 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 収支予算(案)に基づき説明。
- ・収入、支出とも11,450,781円(詳細については資料6参照)。

◎拍手多数により承認(2016年度事業計画案及び予算案について一括)

4 その他 【鈴鹿市地域資源活用課長 菅沼】

- ・平成28年度 協議会・部会・運営委員会の開催日程に基づき説明。
- ・今後、F1日本グランプリ終了後に各部会で事業を検証し、その結果を1月に開催予定の協議会にて報告させていただきたいと考えているので、皆様の出席をお願い申し上げます。

15:25 終了

次回開催は、平成28年1月中旬ごろを予定いたしております。